

S C スタッフ名簿

S C 役務	所属	氏名	S C 役務	所属	氏名
野営長	埼玉副理事長	澁谷 昌彦	庶務係	浦 和 5	笠原 昭子
副野営長	神奈川副理事長 安全管理者	伊藤 幸夫	庶務係	上 尾	三浦 俊弘
	千葉副理事長 副安全管理者	佐久間邦彦	会計係長	浦 和 2	武田 政子
	山梨理事長 副安全管理者	山岸 一芳	会計係	栗 橋 1	柿沼 幸一
埼玉派遣団本部	県副理事長	菊地 英雄	参加隊係長	地区コミ	松澤 恵
	県連盟理事	鈴木 勝利	参加隊係	吉 川 2	竹内 功
	越 谷 5	吉澤 雅世	奉仕隊係長	埼玉県連盟理事	永山 清
	朝 霞 1	久保田 稔	奉仕隊係	団担当コミ	後藤 幸弘
	和 光 1	石山 貴宣	広報班 班長	埼玉県連盟理事	中牟田和彦
神奈川派遣団本部	県連盟理事	木村 耕三	広報班員	埼玉県連盟理事	小室 馨一
	川 崎 2 1	萩原 泉	広報班員	狭 山 1	青木 祥敬
	横 浜 9 2	岩波 信夫	広報班員	飯 能 3	斉藤 茂
	厚 木 7	高橋 一夫	国際班 班長	埼玉県連盟理事	柳田 秀一
	県連盟職員	高橋 久代	国際班員	浦 和 8	永瀬 晋作
千葉派遣団本部	県副理事長	佐久間邦彦	国際班員	鴻 巣 2	二見 千晶
	県連盟コミ	増田 秀夫	国際班員	三 郷 1	黒澤 岳博
	県連盟理事	石黒 秀彦	野営管理 班長	県連盟総務委員長	河野 潤
	県事務局長	星 淳一	環境保全係	都 留 1	西野 一
	柏 1 0	志村 尚男	環境保全係	河口湖 2	渡辺富士雄
	船 橋 1 2	福田 充夫	環境保全係	甲 府 2	山崎 裕朗
山梨派遣団本部	県連盟副理事	鍋谷 正俊	環境保全係	甲 府 7	橘田 隼斗
	甲 府 3	日下部治俊	環境保全係	甲 府 2	坂本 洋介
運営部長	埼玉県連盟コミ	木南 信一	環境保全係	甲 府 6	臺 宏祐
運営副部長	埼玉県連盟理事	西山 繁夫	環境保全係	甲 府 4	米山 朋伸
	埼玉県連盟副コミ	佐藤 秀明	環境保全係	都 留 1	西野 尚樹
	神奈川県連理事	武井 靖典	警 備 係	富士地区事務長	新田 雅弘
	千葉県連盟副コミ	高桑 明	警 備 係	甲 府 1 0	新井 誉夫
	山梨県事務局長	平賀 武彦	警 備 係	横 浜 6 5	高岡 泰志
総務班 班長	埼玉県連盟理事	吉野 一男	警 備 係	横 浜 9 6	山田 武忠
庶務係長	埼玉県連盟理事	星谷光市郎	警 備 係	横 浜 6 2	山片 悟

S C スタッフ名簿

S C 役務	所属	氏名	S C 役務	所属	氏名
警備係	相模原 2	浅野 隆一	施設管理係	愛川 2	藤原 満雄
警備係	旭 1	三塚 学	資材係長	横浜 8 2	篠坂 賢治
警備係	鴨川 1	庄司 正義	資材係	横浜 3	萩野 正
救護班 班長	横須賀 4	中島 敏之	資材係	横浜 3	佐藤 秀悦
救護班員	横浜 13 1	井上 晃二	資材係	横浜 8	浜中 旭
救護班員	平塚 3	倉本 宣生	資材係	横浜 2 0	松本 民雄
救護班員	座間 1	沼田 直美	資材係	横浜 8 1	村 幸雄
全体行事班 班長	千葉 地区コミ	大川 正芳	配給班 班長	神奈川連盟理事	中村 俊雄
全体行事班員	千葉県連盟理事	飯牟礼俊昭	配給次長	横浜 12 2	木村喜久雄
全体行事班員	流山 3	丹羽 節也	配給次長	平塚 1 1	川島 功
全体行事班員	流山 4	小野寺克文	配給係	横浜 8 7	松岡 義則
全体行事班員	佐原 2	中村 芳信	配給係	横須賀 1 6	戸田 正二
全体行事班員	市原 6	谷口 尚武	配給係	川崎	福田三喜夫
全体行事班員	松戸 1	清水 勝幸	配給係	逗子 1	丸山 健一
選択プログラム班 班長	千葉 2 2	高久 節夫	食堂次長	相模原 8	太田てる子
選択プログラム班員	千葉 地区コミ	赤羽根昭男	食堂係	横浜 12 5	磯部磨梨子
選択プログラム班	千葉 2 1	吉田 実	食堂係	神奈川県央地区	萩原 牧子
選択プログラム班	船橋 1 4	大塚 正久	食堂係	神奈川県央地区	橋本 操
選択プログラム班	東金 1	山下 博行	食堂係	神奈川県央地区	渡邊真智子
選択プログラム班	鎌ヶ谷 2	古瀬 洋司	食堂係	神奈川県央地区	鶴巻 恵理
選択プログラム班	浦安 1	柴田 信次	第一野営区長	埼玉 地区コミ	渡辺 修
選択プログラム班	千葉 団コミ	米田 勝	第一野営区副区長	埼玉県連理事	小川 泰雄
選択プログラム班	八千代 4	佃 昇	第二野営区長	木更津 2	白井 正治
宗教班 班長	千葉県連盟副コミ	岸本 幾代	第二野営区副区長	船橋 7	米田 啓治
宗教班員	千葉 地区コミ	堀田 清乃	第三野営区長	横浜	佐久間直人
施設資材班 班長	神奈川連盟理事	高森 茂範	第三野営区副区長	川崎 4 3	小嶋 国晃
施設管理係 係長	綾瀬 2	油科 和男	第四野営区長	山梨連盟副コミ	中村 忍
施設管理係	綾瀬 1	澤 武男	第四野営区副区長	河口湖 2	渡辺 光夫
施設管理係	相模原 9	渡邊 英之			
施設管理係	横須賀 1 1	橋本 国夫			

配給班運営要項

食堂係

S H Q 食堂担当者の円滑な業務遂行のため、次の通り食堂運営要領を定める。

1、任務

(1) S H Q 食堂の運営 対象 3 S C 要員 (1 2 0 名)

2、配給物資の整理

- (1) 搬入された物資は速やかに調理できるよう整理する。
- (2) 肉類など生鮮食料品は腐敗しやすく、集団食中毒の原因となる恐れがあるので保冷庫に保管するなど、細心の注意を払う。

3、食堂係りにおける S H Q 要員への食事時間と運営

(1) 食事基準時間は下記の通りとする

	食事時間帯	内容
8月2日昼	12:00～13:00	献立表通りまたは弁当
8月2日夕食	17:30～18:30	〃
8月3日朝食	7:00～8:00	〃
朝食	7:00～8:00	献立表のとおり
昼食	12:00～13:00	〃
夕食	17:30～18:30	〃
8月8日昼食	8日の朝食時に配布	

* コップは各自、持参

(2) 食事方法

上記時間内に各自食事をとる。

* 役務の関係で上記時間以外希望の場合は、前日までに食堂に置かれた申込書にて申し込む

(3) 食券は8月2日昼食時に配布する。

4、廃棄物の処理

- (1) 食材と一緒に配給された「ダンボール」「牛乳ビン」「通い箱」「包装袋」「ペットボトル」は配給の際に J H Q 配給部が回収する
(午前9時、午後2時までに準備すること)
- (2) 上記以外は一般ゴミとして「燃やすゴミ」「燃やさないゴミ」「資源ゴミ」に分別し透明袋に入れ班名を記入し朝6時までに決められた場所に出す。
- (3) 燃やすゴミは水切りをし、J H Q から支給されたゴミ袋に入れ、口を縛って出す。
- (4) 燃やさないゴミ、(主に金属ゴミ、陶器類、ガラス類) は J H Q から支給されたゴミ袋に入れ、作業者に危険が及ばないように配慮する。
- (5) 資源ゴミ (空き缶、空き瓶・ペットボトル、新聞紙、ダンボール、紙パック、雑誌

等)は透明(または半透明)の袋に入れ、班名を記入し朝6時までに決められた場所に出す

(6)その他

不明または詳細については野営管理部の支持に従うこと。

(7)8月7日分の配給コンテナは8月8日の10時までに配給部に持参すること。

5、その他

(1)献立表は別途資料(いしる鍋はレシピ配布)

(2)米飯は無洗米とする。

申込書式

<u>食事時間 変更申込み書</u>		記入者名	
3SC班名		班	名
日付		月	日
食事時間	朝食	: ~ :	
	昼食	: ~ :	
	夕食	: ~ :	
変更理由			

上記のとおり食事時間の変更を要望いたします。

配給係

JHQ配給部、SHQ配給班並びに各隊の円滑な業務遂行のため、次の通りSHQ配給運営要領を定めます。

1、3SC配給要員のJHQ配給部による食材の受け入れ

- (1) 配給食料の搬入は、事前に配布する配給計画表に基づき行う。
- (2) 輸送車両を、荷おろし位置に誘導し荷おろし作業を行う。
- (3) JHQ配給部よりの配給は次の時間帯に行うので、配給担当者は受領態勢を整え配給業務に協力をする。

JHQ配給部よりの受け入れ時間表

配給区分	配給時間帯	配給食材
一括配給	最初の配給	全期間分の調味料 その他
午前配給便	9:30～10:30	配給内訳表のとおり
午後配給便	14:30～15:30	〃

* 配給時間帯は都合により繰り上げまたは繰り下げることがある

- (4) 配給担当者は、配給車両に同乗しているJHQ配給部員と協力し、搬入数量を確認の上、所定の受領伝票に署名する。
- (5) 外国派遣隊の食材
国際部と連携し宗教上の理由等の食事制約がある指導者、スカウトに対応する。

2、3SC配給物資の整理

- (1) 搬入された物資は各隊に速やかに配給できるよう整理する。
- (2) 肉類など生鮮食料品は腐敗しやすく、集団食中毒の原因となる恐れがあるので保冷库に保管するなど、細心の注意をはらう。

3、参加隊おける配給物資の保管

- (1) 肉類など生鮮食料品は腐敗しやすく、集団食中毒の原因となる恐れがあるので保冷库に保管するなど、細心の注意をはらう。

4、SHQにおける参加隊への配給方法

- (1) 配給基準時間は下記の通りとします。

配給区分	配給時間帯	配給食材
一括配給	最初の配給 11:00～12:00	全期間分の調味料 その他
午前配給便	11:30～12:00	配給内訳表のとおり
午後配給便	16:30～17:00	〃

* 配給時間帯は都合により繰り上げまたは繰り下げることがあります

(2) 配給方法

基本的に隊単位(40名)ごとに、コンテナケース(通い箱)で配給致します。
持ち帰り用箱等は、各隊で準備して下さい。

(3) 配給は登録時に交付する配給表により行います。

(4) 配給開始時にはキャンプサイトの地形を考慮し、旗を掲揚し、鐘を鳴らすなど各隊に合図いたします。

(5) 各参加隊の責任者は、SHQ配給所において配給物資を受領して下さい。

(6) 配給物資の内、数量不足、または不良品を発見した場合は、配給担当者まで通報しその指示を受けて下さい。

(7) 薪は全期間分を一括配給いたします。

1隊につき20束 (結束なし*約10本/束見込み)

(8) 氷 8月3日~8月7日 1隊に付1日当たり2貫目配給

* 追加対応は価格引渡し方法を検討中

5、配給された食材のごみ

(1) 食材と一緒に配給された「ダンボール」「牛乳ビン」「通い箱」「包装袋」「ペットボトル」は配給の際に回収しますので、他のゴミと分けて集積してください。
集積後JHQ配給部が回収いたします。

(2) その他

不明または詳細については野営管理部の支持に従うこと。

(4) 8月7日分の配給コンテナは7日18時までに3SC配給所まで持参して下さい。
3SC配給部は8月8日の10時までにJHQ配給部に持参いたします。

6、その他

(1) 配給品一覧表は後日配布(『いしる鍋』は、レシピ配布)

宗教班

信仰奨励プログラムについて

「各人の信仰」に基づいて、ジャンボリーに参加したスカウトの一人一人が、更に明確な信仰を持つように、また、信仰心を高めて精神的に充足して大会を楽しむことができるように、信仰奨励のためのプログラムが用意されます。

プログラムや活動の方法等の詳細については、配布される「信仰奨励のためのスカウトハンドブック」を参考にご指導ください。ここでは概要をお知らせします。

1. 1日の基本プログラムは以下の通りです。
 - * 朝のFM放送～スカウトハウスの実施：全スカウト共通
 - * 一日のテーマの掲示
 - * 宗教館(JHQパビリオン)またはSHQ信仰奨励センターでの展開
 - * 夜のFM放送～スカウトハウスの実施：全スカウト共通
2. 毎日のテーマ：きょうのモットーに基づいた信仰奨励プログラムが展開されます。
 - 8月3日(木) 仲よくとけこもう Make friends with everyone.
 - 8月4日(金) 身につけよう Learn, and acquire knowledge and wisdom.
 - 8月5日(土) さらに深めよう Study harder! Train more!
 - 8月6日(日) 感謝の心 Have always a grateful mind.
 - 8月7日(月) 新しいたびだち Make a new start!
3. 信仰奨励プログラムのすべてに参加したスカウトには「Religion Award」が授与されます。アワードをとると、宗教章課目の「礼拝作法に関する細目」について履修したことになります。アワードのチェックカードが用意されます。

<取り組むプログラム>

 - ジャンボリー期間中に、自分の家の宗教(派)の礼拝作法を体験する。
 - JHQ 宗教館で実施する体験コーナー、または、SHQ 信仰奨励センターで実施するプログラムに1回以上参加する。
 - スカウトハウ스에3回以上参加する。
 - 宗教儀礼に参加する。
 - 毎日の善行に取り組む。
4. 宗教館(パビリオン)が、選択プログラムの「草原の風」(わくわく夢ランド)に設置されます。スカウトの訪問をお勧めください。
 - 展示コーナー：テーマ「宗教章を取得するためには」
 - ・取得方法や授与基準の紹介
 - ・各教宗派のスカウト手帳の展示など
 - 体験コーナー：念珠作り、しめ縄作り
 - 平和のメッセージの寄せ書き、千羽鶴の作成、平和を祈り1万回鐘を打つ
 - 相談コーナー：宗教的な問題だけでなく活動や人間関係の悩みについての相談室

5. 8月5日(土)の午前中は、教宗派ごとに**宗教儀礼**が行われます。スカウトの参加にご配慮ください。

信仰奨励センターについて

3 SC 本部内に信仰奨励センターを設置し、スカウトのアワード取得のための体験プログラムの実施及び**アワードの授与**を行います。

スカウトと参加隊指導者には「信仰奨励のためのハンドブック」が配布される予定です。参加隊指導者の皆様には、スカウトが信仰心を高めて精神的に充実した毎日を送れるようにご指導くださいますようお願いいたします。ことにスカウトオウンの実施については、FM 放送に基づき、十分な配慮をもってご指導くださいますようお願いいたします。

また、会期中スカウトが信仰奨励プログラムに積極的に参加し、レリジョンアワードを取得するようにお勧めください。

信仰奨励センターでは

1. 掲示によるガイド

- ・「きょうのモットー」「宗教儀礼会場案内地図」等の掲示をします。
- ・JHQ 宗教部及び信仰奨励センターでのプログラムの予定についても掲示します。

2. 信仰奨励プログラムの実施：日時の詳細に付いては掲示によりお知らせします。

- ・「節供(節句)」について知り・考え・体験することで学びます。
 - * 4日午後、6日午前
- ・平和について語り合い、平和へのメッセージで「平和の木」を作ります。
 - * 4日午前、5日午後、6日午後

3. 展示

- ・宗教章記章の展示をします。
- ・参考資料その他の展示をします。

4. 話し合いのコーナー

- ・気軽な話し合いのコーナーを設置します。おしゃべりや相談で、心のリフレッシュをしてもらえたら幸いです。

国際班

1. 配属される外国スカウト及び指導者について

派遣国名	スカウト		指導者		男女別計		合計
	男	女	男	女	男	女	
韓国	29	13	6	1	35	14	49
中国(台湾)	4	8	2	2	6	10	16
シンガポール	28	-	11	-	39	-	39
UK(ガールガイド)	-	7	-	2	-	9	9
計	61	28	19	5	80	33	113

2. 3SCとしての配属方針について

		韓国	中国(台湾)	シンガポール	男女別区	野営区計
第1野営区	男	9	2	9	20	26
	女	4	2		6	
第2野営区	男	8	2	10	20	26
	女	4	2		6	
第3野営区	男	8	2	10	20	26
	女	4	2		6	
第4野営区	男	10		10	20	26
	女	2	4		6	
国別計		49	16	39	104	

- ・外国派遣隊の入場は平成18年8月3日(木)15:00までを完了目標とします。退場は平成18年8月8日(火)午前の予定です。
- ・第14回日本ジャンボリーの大会趣旨を踏まえ3SCに配属される外国派遣隊のスカウトについてもSC内参加隊に均等に野営区長を通じ参加隊各班2名一組(UKガールガイドを除き同姓同志の二人一組とする)とし配属する。
- ・参加スカウト数に差異が生じた場合は配属数をの変更することがある。
- ・端数が生じた場合は野営区内でこれを調整すること。
- ・外国派遣隊指導者についてはSC国際班所属の班員とする。

3. その他

携行品について

- ・外国派遣隊員は基本的な個人装備(寝袋、雨具、水着、食器、懐中電灯等)は持参携行していますが宿泊テントは準備・携行していませんので、受入るSC参加隊で準備すること。
- ・外国派遣隊に対するJHQ本部からの貸与品はありません。ただし、気候変化に対応する防寒用の毛布は必要であれば申し出てください。

食事について

- ・外国派遣隊員は米持参しておりませんので、パン・米等について追加配給を依頼して下さい。
 - ・宗教上の理由により外国派遣隊スカウト及び指導者が採ることができない食材がありますので注意して下さい。
- また、食材の調理方法、調理器具の取り扱いにも充分配慮して下さい。

プログラム参加について

- ・外国派遣隊スカウト及び指導者がエキスカーシオンプログラムに参加する場合の参加費はJHQ大会本部の負担となっていますので、日本参加隊が負担する必要はありません。

その他

- ・外国派遣隊スカウト及び指導者は開会式、ジャンボリー大集会、閉会式時のパフォーマンスの練習・打合せ等により、配属された隊を離れることがあります。
- ・米ドルの換金は大会期間中、スカウト用品部で取扱っています。換金率は期間中一律となっています。尚、クレジットカードの使用はできませんので注意して下さい。
- ・SC内での外国旗の掲揚は行いません。
- ・SC内で外国派遣隊スカウトとトラブルが生じた場合、派遣隊指導者と野営区長とで解消に努力して下さい。言語等で障害が生ずる場合はSC国際班へご連絡下さい。

野営管理班

1、野営管理の基本事項

・野営管理班員の心がまえ

野営管理班員は、14NJを安全かつ楽しい大会にするため、下記の業務に精励する。

- 1、自然環境の保全・整備に関すること
- 2、野営規律の維持・安全の保持に関すること
- 3、設営・撤営・野営生活の指導に関すること
- 4、SC内の警備・火災・遺失物等の処理に関すること
- 5、じん芥・し尿の処理の管理指導に関すること

・野営管理班の業務

野営管理班には、環境保全係と警備係をおき、上記業務の細部を分担する。

[班業務]

- ・本部施設サイトの割付け作業を到着後すぐ行う。
- ・8月2日12時までに参加隊の区割りを行う（班員全員、奉仕員）。
本SCにおいては、一個隊あたり600㎡を割り当てる。
- ・遺失物を保管し班事務所に掲示する。

[環境保全係]

- ・場内の自然環境保持のため場内巡視を午前と午後を実施する。
- ・排水処理施設、ゴミ集積所、トイレ、シャワー施設、給水所の清掃整備消毒を行い不備がある場合は、これの修理を依頼する。
- ・施設使用法について、参加隊への注意、呼掛けをおこなう。
- ・撤営時における環境整備に関しての注意事項書の配布。
- ・場内の危険個所の有無を確認し、ある場合は掲示、撤去、指示等のを処置をする。
- ・ゴミの分別、集積時間の一覧表の配布。
- ・シャワー使用時間、「男女別」の一覧表の配布。

[警備係]

- ・SC出入口の警備。
- ・場内巡視を行い、参加隊の生活について野営区長との連絡を密にする。
スカウトに在るまじき行為を行う者は注意をし、担当県連に連絡し処理する。
- ・火気の取扱について、各サイトを巡回し、使用方法が適切か確認・指導する。
- ・深夜の警備は、当直者を置きこれに対応する。
- ・参加隊の入退場時等にはJHQの要請によりバス駐停車の規制にあたる場合もある。

・参加隊指導者の心がまえ

参加スカウトは、ジャンボリーを楽しく過ごすため、基本的ルールを遵守し、周囲に配慮し、生活することを旨とする。また、快適なキャンプ生活を送るため、共用部分の使用方法を研究し、清潔に保てるよう努力する。

また、会場周辺は住宅地でもあるので、周辺住人に対するより高い配慮が求められる。我々はスカウトであると言う自覚の元、すばらしいジャンボリーを成功させよう。

2、給水場所とその利用について

- ・給水場は、3SCには2カ所設置される。
- ・これまでのジャンボリーと同様、給水場は水を汲むだけの場とする。給水場での調理準備、洗濯等を行わないこと。
- ・節水に心がけること。

3、シャワーの使用について

- ・シャワーは、3SCには2カ所設置される。
- ・使用時間については、現地において指示する（男女の時間分け、SC要員の使用時間設定など）。
- ・水道同様、節水に心がけること。

4、トイレについて

- ・トイレは、3SCには2カ所設置される。
- ・女子専用については、現地にて指示する。
- ・汲み取りは、会場内で順次行われる予定であるが、使用状況により時により使用を禁止することもある。
- ・参加者はトイレを清潔に保つよう心がけること。
- ・各隊スカウト及び指導者が使用するトイレトペーパーは各隊で準備すること。

5、雑排水処理について

- ・水場近くに排水処理枡が設置される。全ての排水の処理はこの枡に行くこと。
- ・ポンプにて汲み上げ作業を行うため、雑物の混入を徹底して避けること。
各隊は、必ず濾過して排水のみを枡に集積すること。
- ・雑排水運搬用の容器を準備すること。運搬中の転倒にもこぼれない様配慮すること。


6、ゴミの分別及び収集について

- ・以下の通り分別・収集が行われる。各隊においては、分別が確実にされているか、ゴミ袋に派遣隊名（又はSC隊名）が記入されているかを確認すること。
- ・集積場所はSCに一カ所である。時間厳守で集積のこと。
- ・収集の詳細（集積時刻等）は、現地にて指示する。
- ・ゴミ袋はJHQから支給されたゴミ袋を使用すること。
- ・活動中のゴミはSCに持ち帰り、各隊内で処理すること。
- ・乾電池類は参加者の責任において自宅に持ち帰り、各自治体の処理方法に従って処理すること。

7、立ち入り禁止区域の設定について

- ・3SC内には、農家の耕作地がある。この範囲は地図上に網掛けで表示され、現地では防護柵で示される。絶対に立ち入らないこと。
- ・3SC内には、1カ所古井戸がある。大会本部によって防護柵が設置されるが、それをサイトに含む参加隊は充分注意し、生活すること。
- ・3SC東側には大きなため池がある。この側にも防護柵が設置される予定であるが、その柵を越える事は大変危険である。立ち入りを禁止する。

ゴミの分け方・出し方

燃やすごみ	毎日（8月3～8日）	透明（または半透明）な袋	燃やすごみ	生ごみ、貝殻 紙くず、プラスチック製品、 木くず、発泡スチロール ペットボトルのふた コンビニ袋等のポリ袋 下のマークの付いた商品 <div style="text-align: center;">  </div>	口を縛って出す。 二重袋で中が見えないものはダメ。 生ごみは水切りをしっかりと出して出す。 金属類などは絶対に入れない。 かまどから出る灰・炭・燃え残りは別にする。
			布・ひも類	タオル、軍手、衣類 ロープ、ひも類 靴、カバン等 ホース（ビニール・ゴム製）	ロープ、ひも類は 60cm 以下に切れれば、燃やすごみとして出せます

燃やさないごみ	8月8日（火）	透明（または半透明）な袋	燃やさないごみ	釘、針金、画鋸、 傘、懐中電灯	主に金属ごみ 家電器具の燃料・電池は必ず抜いてください。 電気コードは切って埋立ごみへ
			埋め立てごみ	燃料缶、スプレー缶 異物が入った缶・びん 調味料等汚れのひどいびん 王冠、アルミホイル 割れたびん、ガラス類	主に陶器類、ガラス類 燃料缶、スプレー缶を出す際は必ず穴を開けてください。 割れた陶器類やガラスなど危ないものは、新聞紙で包み「ガラス」等と表示してください



配給食材のごみ

食材と一緒に配給された「ダンボール」、「牛乳びん」、「通い箱」、「包装袋」、「ペットボトル」は、次の配給の際に回収しますので、他のごみと分けて集積してください。（売店等で購入したペットボトルは資源ゴミとして指示に沿って出すこと。）

収集しないごみ

乾電池等有害ごみは持ち帰り、帰宅後各自治体で処理してください。

ゴミの分け方・出し方

資源ごみ	8月4日(金) 8月8日(火)	透明(または半透明)な袋	あきかん	錆びた空き缶・異物が入った空き缶は絶対に混ぜないで、「埋立ごみ」に出してください。 軽く水洗いしてください 	新聞紙	必ず、チラシを取り除いて、紐で縛って出してください。ダンボールに入れて出さないでください。
			あきびん	必ず、無色・茶色・その他の色で3種類に色分し出してください。 汚れのひどいものはリサイクル出来ません。「埋立ごみ」に出してください。 王冠は必ず外し、「埋立ごみ」に出してください。	ダンボール	金具は取り除いてください。汚れがひどいもの、濡れたものは「燃やすごみ」に出してください。
			ペットボトル	キャップを取り、水洗いをし、潰さないで出してください。 キャップや汚れがひどいボトルは「燃やすごみ」に出してください。 ラベルは取らなくて結構です。 	紙パック	水洗いをし、切り開いてから出してください。内側がアルミコーティングされているものは「燃やすごみ」に出してください。
					雑誌・チラシ・その他紙	お菓子の箱、ハガキも「雑誌・チラシ・その他紙」になります。 カーボン紙や感熱紙、紙コップ、粘着テープ、セロハン等は燃やすごみ、金属クリップ等は燃やさないごみですから絶対混ぜないでください。

おねがい！守ってください。

ごみは分別して朝6時まで

SC毎の決められた日に！決められたごみを！決められた場所に！出してください

- ・燃やすごみ、布製品・ひも類、燃やさないごみ、埋立ごみは透明(または半透明)な袋に入れて隊名・番号を明記して出してください。
- ・会場内外で活動中に出たごみは、各隊サイトに持ち帰り正しく分別して出してください。
- ・二重袋にならないよう、コンビニ袋から出して透明(または半透明)な袋にまとめてください。

カセットボンベ、スプレー等の缶は必ず穴を開けて出す。

電池、燃料等が入っているものは必ず抜いて出す。**(電池は持ち帰ること)**

割れたびん・ガラス類、針の類、刃物類は必ず紙等に包んで出す。

びん類およびペットボトルは必ずふたを取り外し、水洗いして出す